

※ 保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。

感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぎ、子どもたちが一日快適に生活できるよう、環境を整えることが大切です。下記の感染症について意見書の提出をお願いします。

※ 感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活が可能な状態となつてからの登園であるようご配慮ください。

報徳保育園 ☎886-8263

医師の意見書

報徳保育園長 殿

児童氏名 _____

生年月日 _____

病 名 _____

年 月 日から症状も回復し、他児への感染の恐れはなく
集団生活に支障がない状態になったので登園してよいことを証明します。

年 月 日

医療機関名 _____

医 師 名 _____ 印 (サイン)

○医師が記入した意見書が必要な感染症（当園用）

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症から1日前から発しん出現後の4日後	解熱後3日を経過してから
風しん（三日はしか）	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水 痘（水ぼうそう）	発しん出現1日～2日前から痂皮形成まで	すべての発しん痂皮化してから
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日 を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結 核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百 日 咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間 を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗 菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O111等）		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し 48時間をあけて連続2回の検便によっていずれ も菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から 数週間～数ヵ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで
RS ウイルス	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態がよいこと
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
その他（※必要な場合）		医師により感染の恐れがないと認めるまで

